

第11回 東北大学看護管理学研究会

賛否両論!?



PNS[®] (パートナーシップ・ナーシング・システム) は 看護師の成長を促すのか

近年、多くの病院が看護提供方式としてパートナーシップ・ナーシング・システム (PNS) を導入しています。PNSは医療の安全性を高め、看護師の業務負担を軽減し、看護師の働きやすさを改善する看護提供方式だと推奨する意見があります。一方で、PNSを導入しても期待していた効果がないという意見や、かえって業務負担感が増加する、新人看護師の成長が遅れるといったデメリットを指摘する意見があります。PNSで働くことで、看護師はどのような恩恵や弊害を受けているのでしょうか？

私たちはPNSが看護師に与える影響を明らかにすることを目的とした学術調査を実施しました。第11回の研究会では、この調査結果を足がかりにして、PNSは看護師にどのような影響を与えているのか、さらには効果的なPNSの活用方法について考えたいと思います。PNSに関心のある方やPNSに関して意見のある方、PNSの導入を検討している施設の方など、たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

(話題提供：東北大学大学院医学系研究看護管理学分野 高田望)

日時 **2018**
11月10日 (土) 13:30~16:00

会場 **東北大学医学部保健学科A棟
第1講義室**

参加費 **200円 (資料代)**

申込み **不要 (直接会場にお越しください)**



お問い合わせ

東北大学看護管理学研究会事務局 ( kangokanri@nem.med.tohoku.ac.jp)